

「新しい食と農の在り方を めざすアグロエコロジー」

アグロエコロジーは時代の転換期を担う

アグロエコロジーって何？ 聞きなれない言葉ですが、農業（アグリカルチャー）と生態学（エコロジー）を合わせた言葉です。といっても単に農業生態学という意味ではなく、現在の大規模農業システムで破壊されてきたものを、取り戻すための農業です。1987年にラテンアメリカで、農業や遺伝子組み換え作物などのモノカルチャー（単品栽培）への抵抗運動として始まりました。

アグロエコロジーは環境面だけでなく、生産者と消費者の主体性の向上を地域のコミュニティがめざします。自然を守るというよりは、自然に身をゆだねる農業です。アグロエコロジーが提唱する小規模農業が国際的に貧困削減や栄養改善に貢献することが明らかになり、国連はそれまでの世界主流であった大規模農業から方針転換しました。2010年代にはイギリスが民主運動として、フランスが国家の政策としてアグロエコロジー取り入れ、国際的にも拡大しています。価値観の転換期の農業を担うアグロエコロジーについてお話いただきます。

「海の幸、山の恵みで健康寿命は延ばせる —世界の長寿食から学ぶ“賢食術”とは—」

2021年9月22日（水）午前10時30分～12時00分

武庫川女子大学 国際健康開発研究所 所長

公益財団法人 兵庫県健康財団 会長 家森 幸男さん

世界の長寿村を訪れ長寿の原因を食の観点から調べておられます。地元で収穫した繊維質が多い果物や野菜と、良質な蛋白質で塩分の弊害をおさえ、脳出血などのリスクを抑える食事が長寿の村の特徴だそうです。「私たちが認知症にもならず健康な老後を過ごす食事のヒントが得られます。」そしてこれらは、アグロエコロジーが提唱する小規模農業だからこそ得られる食材です。

「9月の食料環境セミナーはZoomでの開催となります 京都より家森先生に映像でご講演頂きます」

いつもと同じくセンターのホールで家森先生の映像を中継しながらセミナーを進め、質問にもお答えいただきます。

【会場】センターホール・オンライン（Zoom）

【オンラインでの参加申込】 info@ksyc.jp

お申込みは9月17日（金）までお願いいたします

【参加方法】件名「9/22 食料環境セミナー参加希望」、

本文にお名前と参加人数をご記入ください。

お申込み確認後、メールでご連絡します